

# 東日本大震災後の子ども支援

～高校生・大学生が見つめる被災地の<sup>いま</sup>現在～

東日本大震災から6年になる今年は、大学生による震災ボランティア活動と、高校生による震災や防災に関する活動に焦点をあてようと思います。

震災当時は小中学生だった子どもたちが、今、高校生、大学生となり、こうした活動を行っています。その取り組みから見える震災後の東北の姿、活動を通して学んだことや課題について、ポスター発表、プレゼンテーション、パネルディスカッションを通じて議論します。

今後の震災支援や次世代の支援者育成につながればと願っています。



## ポスターセッション参加高等学校

1 岩手県立  
大船渡高等学校

- ◎ 震災の記録

2 岩手県立  
一関第一高等学校・附属中学校

- ◎ 震災から学ぶ活動 (避難行動調査と中学生への災害に備える授業の実施)
- ◎ 沿岸被災地と内陸をつなぐ活動 (沿岸内陸コラボシビの開発と普及)
- ◎ 沿岸被災地における健康支援活動 (生活不活発予防のための畑作り)

3 宮城県  
気仙沼高等学校

- ◎ 市民の防災に対する関心を高める方法
- ◎ 気仙沼市の防災の課題

4 宮城県  
石巻西高等学校

- ◎ 本校の防災交流について (高校2年生による)
- ◎ 本校の防災交流について (高校1年生による)

5 福島県立  
磐城桜が丘高等学校

- ◎ 絆と結束の町城山  
～ハザードマップ作りを通して～
- ◎ 絆と結束の町城山  
～防災カードで変える未来～

6 仙台白百合学園  
高等学校

- ◎ 震災による被災者の支援  
(精神面・身体面)  
～私たちにできること～



## プレゼンテーション参加東北大学学生ボランティア団体

1 地域復興プロジェクト  
“HARU”

- ◎ 子ども支援の変遷  
～震災直後から現在までのHARUの取り組み～

2 NPO法人 キッズドア

- ◎ 東日本大震災からみる子どもの貧困  
～学習支援というアプローチ～

3 陸前高田応援サークル  
ぼかぼか

- ◎ 子ども×大学生 in陸前高田

4 インクストーンズ

- ◎ 教育学部生から見た被災地の子ども達

5 復興youth

- ◎ いわきで出会った子どもたち  
～学生ボランティアに出来ることは何なのか?～

6 基礎ゼミ・展開ゼミ継続サークル  
たなぼた

- ◎ 私達が学んだ被災地の子どもを取り囲む環境

日時 2017年 **12月9日** 土 10:30～15:30 (受付 10:00)

会場 **東北大学総合講義棟**

参加条件 テーマに関心のある方はどなたでも

定員 **250名**(当日参加受付いたします)

申込方法 電話・FAX・E-mailでお申し込みください

参加費  
**無料**

[主 催] 東北大学大学院教育学研究科 震災子ども支援室 “S-チル” [共 催] 東北大学高度教養教育・学生支援機構

# 東日本大震災後の子ども支援

～高校生・大学生が見つめる被災地の現在～

## スケジュール

時間	内容
<b>第1部</b>	
10:30	教育学研究科 工藤 与志文 研究科長挨拶
10:35	高度教養教育・学生支援機構 花輪 公雄 機構長挨拶
10:40	趣旨説明及び“S-チル”の紹介
10:50	本日の流れと注意事項の説明
会場移動	
11:05	高校生ポスターセッション
12:00	昼休み

時間	内容
<b>第2部</b>	
12:40	課外ボランティア活動 支援センターの紹介
12:50	地域復興プロジェクト“HARU”
13:05	NPO法人 キッズドア
13:20	陸前高田応援サークルほかほか
13:35	休憩 15分
13:50	インクストーンズ
14:05	福興youth
14:20	基礎ゼミ・展開ゼミ継続サークル たなぼた
14:35	休憩 15分
14:50	フロアー及びグループ間での トーク&ディスカッションまとめ
15:30	終了



※近隣に飲食店はありませんので、昼食は各自でご準備ください。

## アクセス方法

### 川内南キャンパス詳細地図



### 仙台駅からの広域地図



- 自家用車でお越しの際は、大学敷地内の駐車場をご利用ください。（左記地図の斜線内のエリア）
- 公共交通機関は、仙台市営地下鉄「東西線」が便利です。
  - ▶「国際センター駅」下車・「西1口」から徒歩10分。
  - ▶駅から会場の南キャンパスエリアまでは坂道で、少々歩きますので、お時間には余裕をもってお越しください。